



2021年12月24日

会社名 株式会社サンデー
代表者名 代表取締役社長 川村暢朗
(コード番号 7450 東証 JASDAQ)
問合せ先 取締役経営戦略本部長 和嶋 洋
(電話 0178-47-8511)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日「スタンダード市場」を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点における「スタンダード市場」の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式比率について基準を充たしておりません。当社は、2025年までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	7,087 人	13,271 単位	20 億円	12.3%
上場維持基準	400 人	2,000 単位	10 億円	25.0%
計画書に 記載の項目	—	—	—	○

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、必要な資本政策を適時に実行していく方針であります。また、「スタンダード市場」における上場維持は、当社が投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えた会社であることを示すために重要であると認識しております。このような考えに基づき、より多くの投資家の投資対象になりうることを目指し、大株主との話し合いや投資家への情報発信の拡充を通じて、流通株式比率の改善に取組み上場維持基準の適合を目指すことを基本方針といたします。

(2) 課題

当社は「スタンダード市場」における上場維持基準の適合にあたり、以下の点を課題として認識しております。

- ・親会社であるイオン株式会社の発行済株式数に占める所有比率が77.22%であることなどにより、流通株式比率が低い状態であること
- ・当社の株式を継続して保有していただいている安定株主が多く、出来高が些少であること

(3) 取組内容

流通株式比率を上昇させる施策について大株主と相談しておりますが、上場維持基準を充たすために必要な株式を短期間に市場へ供給することは株価形成においてマイナスの影響も大きいことから2025年を目途として段階的に流通株式比率を向上するための施策を実施してまいります。具体的な時期、手法については株価への影響を勘案したうえで決定次第速やかに公表いたします。

また、四半期毎の決算情報の適時開示に加え、マスコミやアナリストに対する決算説明会を通じて情報を発信し、投資家の皆さまが情報を取得する機会の確保に努めております。今後も、適時開示およびコーポレートサイトでの情報公開を軸に、発信する情報の質に留意しつつ、当社の事業および今後の成長性を理解していただくための情報発信に努めてまいります。

以上